

武蔵野、静岡に新工場

弁当など セブンイレブんに供給

セブンイレブン向けの
お弁当やおにぎり、調理
麺などを製造している武
蔵野（埼玉県朝霞市、高
橋信孝社長）は静岡県に
新工場を建設する。設備
投資額は30億円程度とみ
られる。2014年3月
に稼働し静岡県内のセブ
ンイレブン向けにお弁当
やおにぎり、すしなどを
作る。セブンイレブンの
店舗拡大や商品拡充にあ
わせて生産能力を高めて
需要を取り込む。

新たに工場を設けるの
は静岡県西部の袋井市。
約1万9000平方メートルの
敷地に2階建ての工場を
建てる。武蔵野は子会社
も含め全国に18の生産拠
点を持つ。静岡県内では、
静岡工場（静岡市）と生
産子会社の静岡フーズ
（袋井市）の2工場があ
る。静岡フーズの工場が
老朽化したのに加え需要
増で手狭になったため、
閉鎖して新工場に移る。
新工場は静岡フーズの

工場に比べて生産能力が
2〜3割上がる見通し。
従業員数は280人で、
60人を新規に雇用する。
焼津市より西の県内の店
に弁当などを供給する。

セブンイレブン・ジ
ャパンは14年2月期に1
5000店を新規に出し、
3期連続で出店数が過去
最高を更新する見通し。
静岡県内では現在550
店を展開している。
武蔵野は店舗増に合わ
せ生産能力を高め、需要
を取り込む。11月にも60
億円を投じ京都府に新工
場を稼働したばかりだ。